

# 目 次

第一章 調査の概要	1
第1節 調査の目的・内容・方法等	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	1
4 調査結果の集計分析	1
第2節 調査の実施過程	2
1 調査対象の設定・標本（サンプル）の抽出	2
2 調査票の配布・回収・有効調査票の選定	3
3 調査票の回収結果	3
第3節 回答者の属性	4
1 性別・年齢別・職業別等の集計	4
〈報告書の見方〉	6
第二章 調査結果の概要～単純集計結果を中心に～	9
第1節 人権・同和問題に関する学習経験	9
1 同和問題を知った契機（問17）	9
2 同和問題の学習経験（問24）	11
3 同和問題の学習内容（問25）	14
4 同和問題の学習に対する評価（問26）	16
5 社会教育における人権問題の学習経験（問13）	18
6 社会教育における人権問題の学習情報（問14）	22
7 社会教育における人権問題の学習契機（問15）	24
第2節 人権・同和問題に関する学習成果（問5）	25
1 日本国憲法の認知	27
2 同和対策審議会答申の認知	28
3 世界人権宣言の認知	29
4 水平社宣言の認知	30
5 大分市人権教育・啓発基本計画の認知	31
6 大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例の認知	32
7 人権週間（12月4日～10日）の認知	33
8 差別をなくす運動月間（8月）の認知	34
第3節 因習などに関する受け止め方（問6）	35
1 結婚式時の「大安」「友引」	36
2 葬儀時の「清め塩」	38

3	血液型による性格・相性・運勢の判断	40
4	鬼門などの方角	42
第4節	日常生活における人権意識	43
1	居住地域の隣人に対する人権意識（問7）	43
2	職場の隣人に対する人権意識（問8）	50
3	自分の結婚相手を考える際の人権意識（問11）	64
4	自分の子どもの結婚相手を考える際の人権意識（問12）	68
5	家事・育児などの役割に関する人権意識（問9）	72
6	日常生活場面における人権意識（問10）	73
7	「差別」に関する受け止め方（問16）	75
第5節	同和問題に関する認識	77
1	同和地区出身者に関する認識（問18）	77
2	同和地区出身者に対するイメージ（問19）（問20）（問21）	79
3	同和問題への関心度（問23）	96
4	同和地区・同和地区出身者に対する受け止め方（問27）（問28）（問29）（問30）	98
5	同和対策の受け止め方（問22）	108
第6節	同和問題を解決する方法に関する意識	110
1	同和地区出身者に対する差別について（問31）	110
2	同和問題を解決する方法に関する意識（問32）	112
<b>第三章</b>	<b>調査結果の分析～クロス集計結果を中心に～</b>	<b>115</b>
第1節	人権・同和問題に関する学習経験と問題の受け止め方	115
1	世界人権宣言の学習成果と人権意識	115
2	「同和対策審議会答申」の学習成果と人権意識	118
第2節	学習の評価（受け止め方）と人権意識	120
1	同和問題の学習に対する評価と人権意識	120
2	同和問題の学習に対する評価と差別問題などの解決法に関する自覚	122
第3節	因習などの受け止め方と人権意識	124
1	「清め塩」習慣に対する意識と差別問題の受け止め方	124
2	「清め塩」に対する意識と差別問題の解決策に対する受け止め方	125
第4節	日常生活における人権意識と問題の受け止め方	126
1	女性の上司と同じ職場で働く場合の意識と夫婦間の固定的な性別役割意識との 関係	126
2	子どもとふれあう頻度と子どもに体罰を加えることに対する意識	127
3	高齢者とふれあう頻度と高齢者に対する固定観念	128
4	障がい者とふれあう頻度とバリアフリーに関する意識	129
5	外国人とふれあう頻度と定住外国人に対する意識	130
6	同和地区出身者とふれあう頻度と同和地区出身者が子どもの結婚相手の場合の 意識	131

7	ハンセン病回復者とふれあう頻度とハンセン病回復者と職場を共にする不安感	132
第5節	同和問題の認識と問題の受け止め方	133
1	同和対策への評価と差別問題への対応	133
2	同和地区への居住意識と差別意識	134
3	実践段階における同和問題の認識と具体的行動の関係	135
第6節	同和問題の解決方法に関する認識	140
1	同和対策への評価と「そっとしておけば、自然と差別はなくなる」とする見方	140
2	「そっとしておけば、自然と差別はなくなる」とする見方と問題への関与	141
3	「市民の主体的学習が必要」とする見方と問題への関与	142
<b>第四章</b>	<b>人権意識の課題と展望～まとめにかえて～</b>	<b>143</b>
第1節	人権・同和問題に関する学習経験の課題と展望	143
1	学校における人権・同和問題の学習	143
2	社会教育における人権・同和問題の学習	144
3	学習経験の課題と展望	144
第2節	人権・同和問題に関する学習成果の課題と展望	145
1	学習内容の認知	145
2	学習成果を上げる方法の検討	145
3	学習成果の課題と展望	146
第3節	因習などに関する受け止め方の課題と展望	147
1	因習などに関する市民の受け止め方	147
2	因習などを改善する方法の検討	147
3	因習などの受け止め方に関する課題と展望	147
第4節	日常生活における人権意識の課題と展望	148
1	日常生活における人権意識の実態	148
2	人権意識を改善する方法の検討	148
3	日常生活における人権意識の課題と展望	148
第5節	同和問題に関する認識の課題と展望	149
1	同和問題の認識	149
2	同和対策の認識	149
3	同和問題・同和対策の認識に関する課題と展望	149
第6節	同和問題解決方法に関する市民意識の課題と展望	150
1	同和地区差別に関する市民意識	150
2	同和問題を解決する方法に関する市民意識	150
3	同和問題の解決を目指す市民意識の課題と展望	150
第7節	自由記述について	151
卷末付録	「調査票」	153